



圧力スイッチ・フロースイッチ／共通注意事項①

ご使用前に必ずお読みください。

製品の個別注意事項につきましては当社ホームページの「取扱説明書」をご確認ください。

警告

- ①仕様を守って使用してください。
仕様範囲外で使用した場合、誤動作や故障・破損の原因となり、感電や爆発・火災・災害などを引き起こす恐れがあります。
- ②修理・分解・改造はしないでください。
修理・分解・改造(追加加工・基板の組み替え含む)を行った場合、けがや誤動作・故障の原因となります。
- ③正しい取付け方法で設置してください。
正しい取付け方法で設置しなかった場合、誤動作や故障・破損の原因となります。
管継手(ワンタッチ含む)の取扱いにつきましては管継手&チューブ／共通注意事項をご参照ください。
下記の3項目につきましては各製品の取扱説明書を参照してください。
 - ・工具の取扱いにつきましては、適切なものをご使用ください。
 - ・締付トルクにつきましては、適切なトルクで取付けてください。
 - ・取付け方向のある製品は、指示されている方向に取付けてください。
- ④保守・定期点検を行い、正常に動作することをご確認ください。
保守・定期点検を行わなかった場合、誤動作や故障の原因となる恐れがあります。
保守・定期点検をする時は供給電源をOFFにし、供給している流体を止めて実施してください。
けがの恐れがあります。
保守・定期点検完了後に、適正な機能検査・漏れ検査を実施してください。
意図しない誤動作により、安全が確保できなくなる恐れがあります。
正常に機器が動作しない・漏れがあるなどの異常の場合は、電源を切断し流体の供給を停止してください。
- ⑤振動・衝撃・荷重を加えないでください。
振動・衝撃・荷重を加えた場合、誤動作や故障・破損の原因となります。
特に、足場になる箇所には取付けないでください。
- ⑥直射日光の当たる場所では使用しないでください。
直射日光が当たる場所で使用した場合、誤動作や故障の原因となります。
直射日光が当たる場合は、日光を遮断してください。
- ⑦製品を腐食させる環境下では使用しないでください。
製品を腐食させる環境下で使用した場合、誤動作や故障・破損の原因となります。
製品の材質をご確認のうえでご使用ください。
- ⑧ATEX対応製品以外は、爆発性や引火性のある環境下では使用しないでください。
ATEX(防爆構造)対応製品はATEXレベルに合った環境でご使用ください。
ATEX対応製品以外を爆発性や引火性のある環境下で使用した場合、爆発や火災などを引き起こす恐れがあります。
- ⑨保護構造の仕様を守って使用してください。
保護構造の仕様を守らなかった場合、誤動作や故障の原因となります。
IEC60529を参照し、等級に合った環境でご使用ください。
- ⑩使用温度範囲・使用湿度範囲・使用流体温度の範囲内で使用してください。
仕様範囲外での使用や、仕様範囲内でも急激に変化する環境・温度サイクルが掛かる環境・凍結や結露する環境で使用した場合、誤動作や故障の原因となります。
低温で使用する場合は、凍結防止の処置をしてください。
- ⑪適用流体以外の流体を使用しないでください。
適用流体以外の流体を使用した場合、誤動作や故障・破損の原因となります。
- ⑫引火性のある流体・毒性のある流体を使用しないでください。
引火性のある流体・毒性のある流体を使用した場合、爆発や火災・災害などを引き起こす恐れがあります。
- ⑬製品内部や配管ポート内に異物やドレンが入らないようにしてください。
異物やドレンが入り込んだ場合、誤動作や故障の原因となります。
流入側(一次側・IN側)には、適切なフィルタ等を設けてください。
- ⑭定格圧力範囲内で使用してください。
定格圧力範囲以外の圧力で使用した場合、誤動作の原因となります。
- ⑮耐圧力以上の圧力を印加しないでください。
耐圧力以上の圧力を印加した場合、故障や破損の原因となります。
- ⑯電源電圧仕様を守って使用してください。
仕様範囲外で使用した場合、誤動作や故障の原因となり、感電や火災などを引き起こす恐れがあります。
- ⑰市販のスイッチング電源を使用する場合は、FG端子を接地してください。
市販のスイッチング電源に接続して使用する場合、スイッチングノイズが重畳され、製品仕様を満足できなくなります。
その場合は、スイッチング電源との間に、ラインノイズフィルタ・フェライトなどのノイズフィルタを挿入するか、スイッチング電源よりシリウス電源に変更してご使用ください。
- ⑱最大負荷電圧および電流を超える負荷を使用しないでください。
仕様範囲外で使用した場合、誤動作や破損の原因となり、寿命が短くなる恐れがあります。
- ⑲配線は正しく接続してください。
誤配線をした場合、誤動作や故障の原因となり、感電や火災などを引き起こす恐れがあります。



圧力スイッチ・フロースイッチ／共通注意事項②

ご使用前に必ずお読みください。

製品の個別注意事項につきましては当社ホームページの「取扱説明書」をご確認ください。

⚠ 警告

- ⑳ ケーブルに繰返し曲げ応力・引張力・荷重を加えないでください。
ケーブルに繰返し曲げ応力・引張力・荷重が加わった場合、断線の原因となります。
ケーブルの推奨曲げ半径は、シース外径の6倍・絶縁体外径の33倍のいずれか大きい値となります。
- ㉑ 通電中に配線作業を行わないでください。
通電中に端子やコネクタに触れると、感電の恐れがあります。
通電中に配線作業を行った場合、誤動作や故障の原因となります。
- ㉒ サージ電圧が発生する負荷は、適切なサージ対策を施してください。
サージ電圧を繰返し印加した場合、誤動作や故障の原因となります。
- ㉓ サージ発生源がある場所では使用しないでください。
サージ発生源(電磁式のリフター・高周波誘導炉・モータなど)がある場所で使用した場合、誤動作や故障の原因となります。
適切な処置を施してご使用ください。
- ㉔ 製品の配線と動力線・電力線との同一配線はしないでください。
製品の配線と動力線・電力線との同一配線した場合、誤動作や故障の原因となります。
- ㉕ 配線上の絶縁性をご確認ください。
絶縁不良(他の回路と混触・地絡・端子間絶縁不良など)があった場合、誤動作や故障の原因となります。
- ㉖ 静電気の帯電が問題になる場所には使用しないでください。
システム不良や故障の原因となります。
- ㉗ 人体にとって有害とされる物質、流体、またその残留物が付着している、または付着の可能性がある製品の返却につきましては、安全確保のため当社へ連絡のうえ、適切な洗浄(無害化処置)を行い、製品引取り依頼書または無害化証明書を提出後、当社から引取り了承の連絡後に返却くださいますようお願いいたします。
有害物質につきましては、国際化学物質安全性カード(ICSC)などで確認をお願いいたします。
ご不明な点がございましたら、最寄りの当社営業所へお問合せください。

⚠ 注意

- ① 製品の表示部や本体に多少の傷や汚れがある場合がありますが、ご使用上問題ないと思われまますので、そのままご使用ください。
- ② 取付け設置・保守・定期点検用のスペースを確保してください。
- ③ 内部降下電圧を考慮してご使用ください。(電子式の場合のみ)
負荷の動作電圧をご確認のうえ、下記式を満足するようにしてください。
電源電圧－製品の内部降下電圧 > 負荷の最小動作電圧
動作電圧を満足しない場合、製品が正常に動作しても負荷が動作しない恐れがあります。
- ④ 入力データの書き込み回数にご注意ください。(電子式の場合のみ)
入力データ(設定値など)はメモリに書き込まれますので、製品の電源を切っても消えませんが、書き込み回数に限りがあります。
書き込み回数については、各製品の取扱説明書を参照してください。
- ⑤ スwitchの清掃は、ベンジンやシンナなどを使用しないでください。
表面に傷が付いたり、表示が消えたりする恐れがあります。
柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布で再度拭き取ってください。